第1回(仮称)公共施設再編·整備計画策定区民会議

区民ワークショップ

開催日時 令和3年12月17日(金)午後7時 会 場 グリーンパレス 2階 高砂・羽衣

本日のタイムテーブルをご確認ください

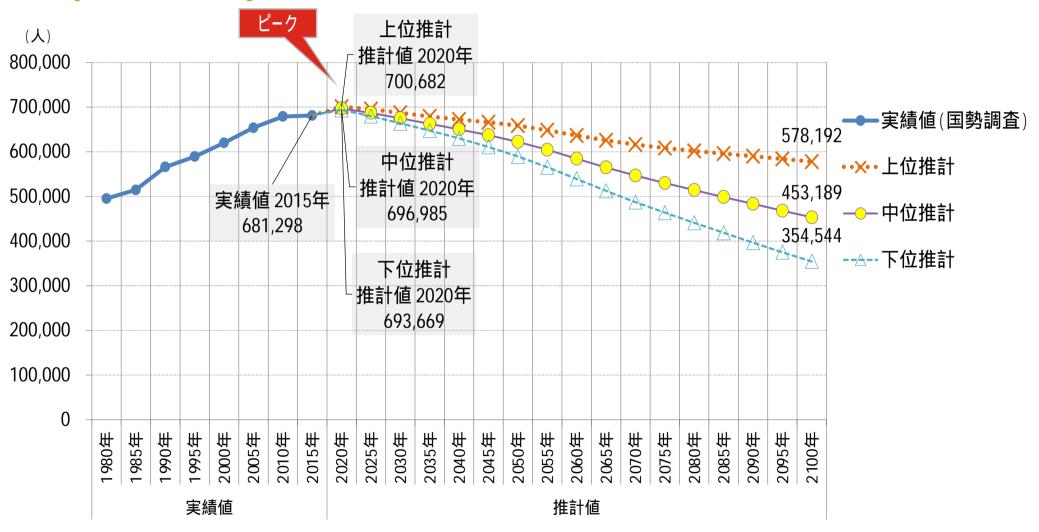
タイムテーブル

次第	内容
開会	1. 新庁舎・施設整備部 部長 あいさつ
議題	1. 江戸川区の現状
	2. (仮称)江戸川区公共施設再編・整備計画について
	3. ワークショップ
	~ 公共施設の魅力と課題について ~
閉会	

1. 江戸川区の現状

本区の人口は2020年をピーク(約70万人)に、以降緩やかに減少していくことが予測 されています

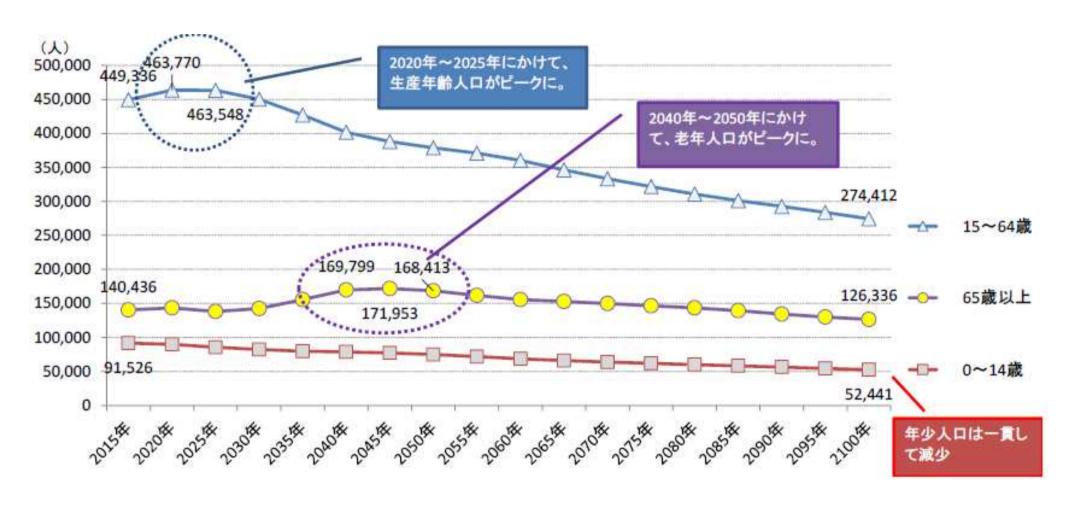
人口(将来人口予測)



出所:江戸川区「施策策定のための人口等基礎分析」(令和2年3月) P.87

生産年齢人口(15歳~64歳人口)の減少幅が大きく、将来的に生産年齢人口への負担が大きくなることが予測されます

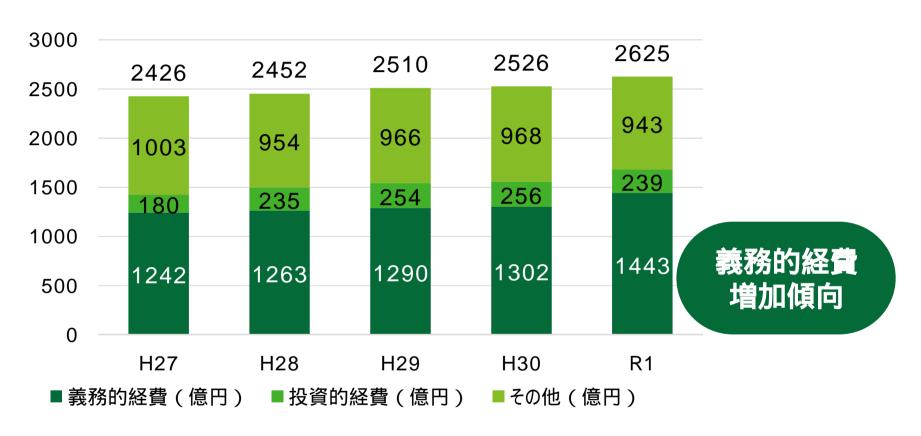
人口(年齡3区分人口予測)



出所:江戸川区「施策策定のための人口等基礎分析」(令和2年3月) P.89

歳出(区から出ていくお金)は年々増加しており、義務的経費も増加傾向にあります

財政(歳出)の推移



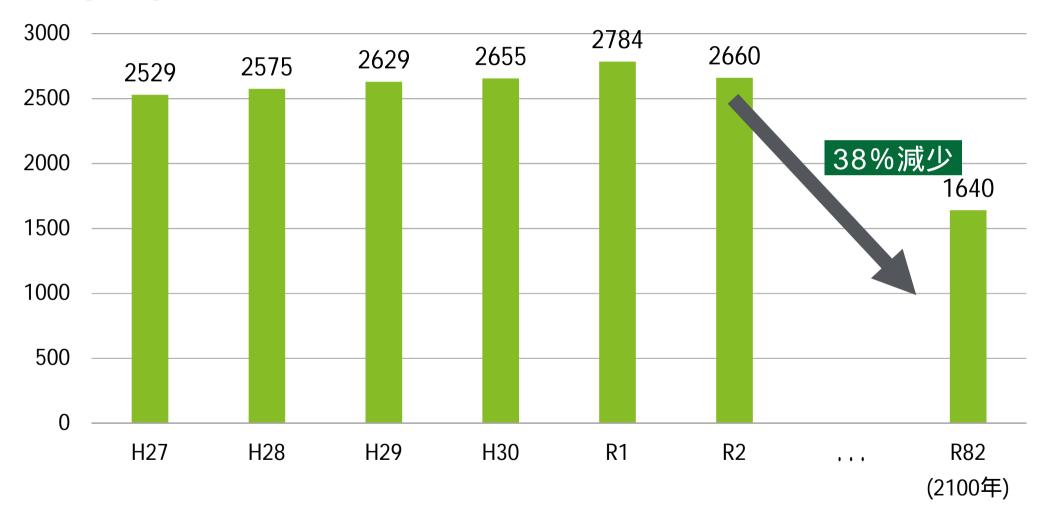
出典:江戸川区「決算カード」

義務的経費:発行した区債の償還にかかる経費である公債費、生活保護や障害福祉、児童福祉 などにかかる経費である扶助費等、区が任意に節減することが難しい経費のこと。

投資的経費:道路や施設を整備するなど資産形成を伴う経費のこと。

歳入(区に入ってくるお金)は年々増加しています 人口推計による試算では、2020年から2100年で歳入が約38%減少と推定されます

財政(歳入)の推移

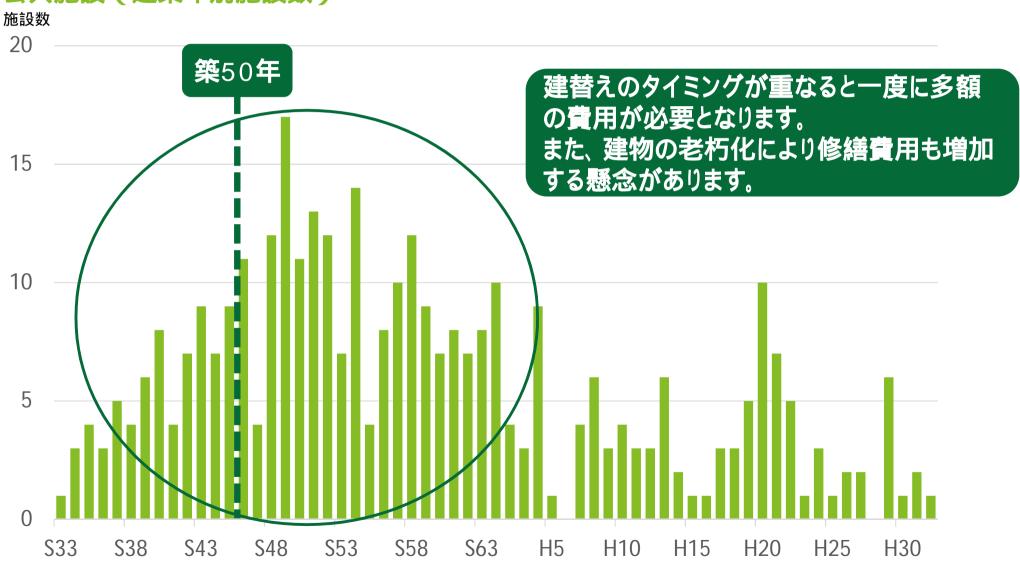


■歳入総額(億円)

出典:江戸川区「決算カード」、「広報えどがわ令和3年4月15日号」

昭和30年代~昭和50年代に集中して建設された公共施設が多く老朽化が進んでいます 大規模改修や改築の時期が重なることが、大きな課題となっています

公共施設(建築年別施設数)



江戸川区が管理する公園は473か所あり、面積は約2,910,000mのリます

公園数と面積

	公園数	面積(㎡)
区立公園	335	2,138,486
児童遊園	125	121,752
親水公園	5	256,965
特色のある公園	8	392,838
合計	473	2,910,041

篠崎ポニーランド、なぎさポニーランド、小岩菖蒲園、自然動物園、総合レクリエーション公園、行船公園、 平井・小松川運動公園、東部交通公園

出典:江戸川区「主要生活環境施設の現況(令和3年度版)」

道路延長約1,160kmのうち、約1,000kmが区道(認定)となっています 面積では、約9,600平方メートルのうち、約7,300㎡が区道となっています

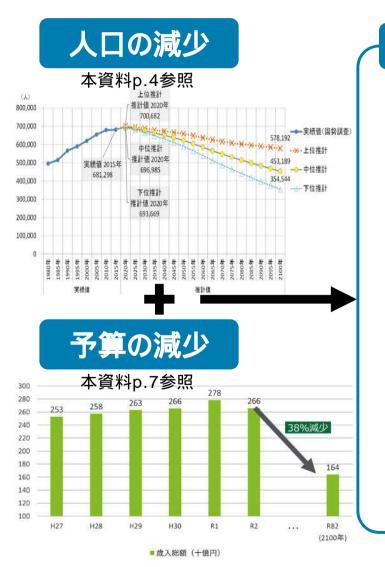
道路延長と面積

区分	管理別	種別	延長(m)	面積(m²)
	国管理	一般国道(指定区間)	6,374	231,761
	都管理	一般国道(指定区間外)	4,634	75,776
	東日本高速道路(株)	自動車専用道路	3,025	112,614
都道	都管理	主要地方道	36,316	1,024,322
		特例都道	25,327	396,167
	首都高速道路(株)	自動車専用道路	16,120	437,093
区道	区道(道路法に基づ〈道路)		997,583	7,130,170
		(内、自転車・歩行者専用道路)	(56,761)	(320,520)
	(道路法に基づ〈道路以外の道路)		71,140	184,460
合計			1,160,519	9,592,363

出典:江戸川区「主要生活環境施設の現況(令和3年度版)」

2100年を見据えて持続可能な行政サービスを実現するためには、施設の複合化や多機能化を含めた公共施設の再編計画の策定に取り組む必要があります

公共施設の成り行きの未来



公共施設への影響



子どもの数は約40%も減り定員に空きができる保育園も。手当や補助金なども、今と同じように続けることが難しくなります。



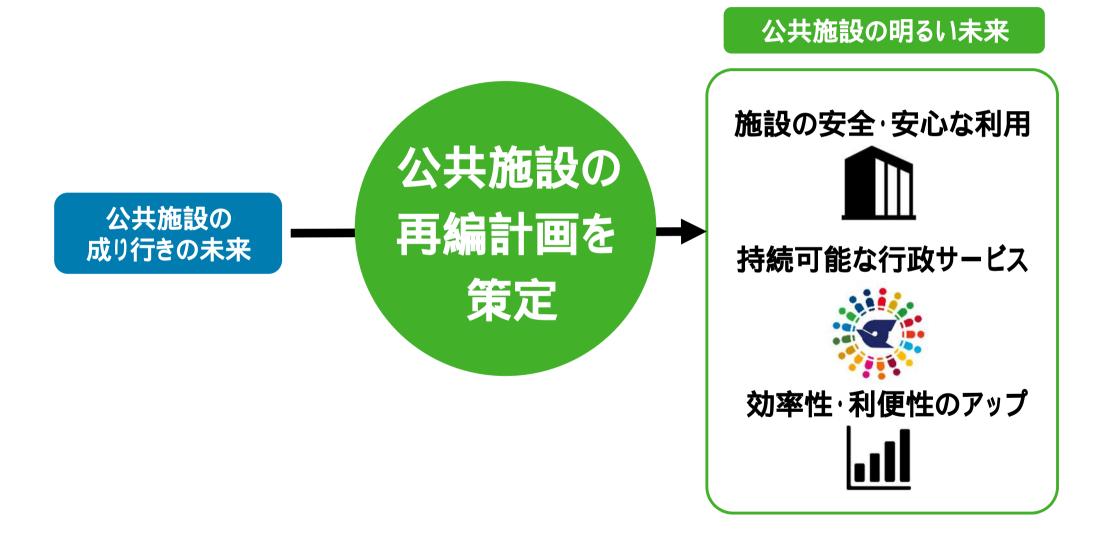
校舎は古〈なっていきますがお金が足りず、 充分に建て替えや修理ができな〈なってし まいます。



スポーツ施設やコミュニティ会館などの数を3分の2に減らさなければ、維持するお金が足りなくなります。

2100年を見据えて持続可能な行政サービスを実現するためには、施設の複合化や多機能化を含めた公共施設の再編計画の策定に取り組む必要があります

公共施設の明るい未来



2. (仮称)江戸川区公共施設再編・整備計画について

公共施設に関する検討は行われていますが、再編・整備に係る方針は整理されていません

公共施設に関するこれまでの検討経緯

- (1)公共施設等総合管理計画【平成29年3月】
 - 国からの要請に基づき策定。計画期間は30年 対象は、公共建築物とインフラ(道路・橋梁・公園等) 適切な維持管理・更新・長寿命化及び財政負担の平準化に向けた取組方針
- (2)公共施設が抱える課題と今後の検討の方向性【平成29年4月】 公共施設(約240の主な区有施設)の現状と課題を整理 施設ごとに敷地面積・延床面積・築年数を記載。地区別に整理
- (3)大型公共施設の現状と再編・整備に向けた今後の検討の方向性【平成30年6月】 対象は、区民利用に大き〈影響する文化・スポーツ・区民館・図書館 人口構造の変化や財政負担、利用者数、利用者の声を総合的に整理・分析 学校統廃合・改築に伴う学校用地や、大規模敷地の創出も検討要素に加味



公共施設を取り巻〈課題や代表的な施設の検討の方向性は示しているが、再編・整備に係る基本方針や具体的な取組方針が整理されていない

(仮称)江戸川区公共施設再編・整備計画では、公共施設等の将来像を検討します

計画の概要

(仮称)江戸川区公共施設再編・整備計画とは

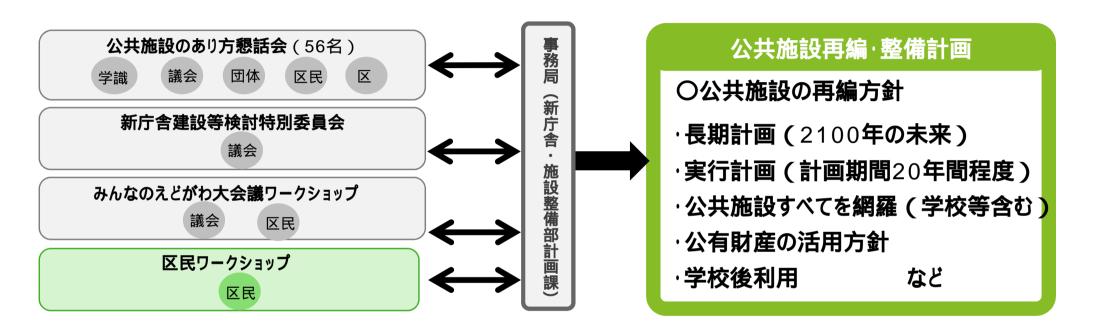
- (仮称)江戸川区公共施設再編・整備計画は、今後老朽化がさらに進む公共施設の全体を 把握し、長期的視点をもって更新や長寿命化などを計画的に行うための計画で、**令和4年度末 の策定**を目指しています。
- 2100年を見据えた財政的な負担を軽減·平準化を目指し、今後の人口構造の変化や施設需要の変化に対応した公共施設等の将来像を検討します。

記載項目例(案)

公共施設の情報	公共施設の保有量やその推移、老朽化に関するデータ等を記載。			
公共施設の将来経費	公共施設の維持管理や更新に要する経費を分析。			
再編・整備の基本方針	公共施設の維持管理・更新についての基本方針を記載。			
施設類型別の整備方針	公共施設の効率的な整備・運営を目指し、施設の類型別に規模や配置の仕方を検討。			

以下の検討体制で幅広くご意見を伺い、(仮称)江戸川区公共施設再編·整備計画の 策定に向けて参考に検討を進めていきます

検討体制と検討スケジュール





3.区民ワークショップについて

区民ワークショップの目的と位置づけをご確認ください

区民ワークショップの目的と位置づけ

区民ワークショップの目的

公共施設を取り巻〈現状や課題を共有する これからの江戸川区の公共施設のあり方を考える 区民の視点を「(仮称)江戸川区公共施設再編·整備計画」の策定に活用する

区民ワークショップの位置づけ

気づき・発見の場

多くの参加者から様々な考え方を聴くことで、今まで意識していなかった「気づき」や、新たな「発見」を得る場とします。

考えを広げる場

自分意見を他の人に合わせたり、他の人の意見を自分と合わせようとする必要はありません。自分とは異なる意見を聞くことで自らの考えを広げる場とします。

自らのこととして 考える場

要望やお願いごとを考える場ではなく、公共施設を取り巻く問題を自らの問題として考える場とします。

区民ワークショップは全4回 + 書面報告2回を予定しており、次回は令和4年4月頃に 開催予定です

スケジュールと内容

第1回

令和3年12月17日

本日

第2回

令和4年4月頃

予定

第3回

令和4年7月頃

予定

第4回

令和4年10月頃

予定

テーマ 公共施設の魅力と課題

本日のワークショップは以下の手順で進めて下さい

本日のワークショップの進め方とお願い



お一人ずつ テーマに沿ってご発言 お一人ずつの ご発言を踏まえ会話 (進行役が司会をします)

最後に 各テーブルでの会話を 発表

- ご発言は、事務局でメモを取らせていただきますので、ご自由にご発言〈ださい
- お互いが公共施設に対してどのような想いを抱いているのか共有するため、できるだけ、みなさん同 士で共感し合ったり、質問し合ったりして〈ださい